

NEWS LETTER

Vol.17
2024年 11月



2024年度も半分が過ぎ、残り半分になりました。
10月からいろいろなものの物価もあがり、郵送料も金額アップしました。
なないろでは10月からヘルプステーションAina(あいな)がスタート
(※旧ぼけっと東エリア)して、心機一転です。



今年もやります！オンラインセミナー

なないろオンラインセミナー

2025年、新年はじめはオンラインセミナーです。

2年前に開催して、大変好評をいただきましたセミナーの第二弾を新年早々開催します。今回は全編録画配信で行います。生活介護、グループホーム、行動援護、相談の各部署からの報告やなないろのスタンスについてのお話などを発信する予定です。

詳細は下記をご確認ください。みなさまの申込をお待ちしております。

社会福祉法人はるにれの里 自閉症者地域生活支援センター なないろ主催

2025年どこよりも早い？

オンラインによる・第2回 個別特化型事業所

なないろ 実践報告会

-自閉症・強度行動障害を有する方への支援の最前線を目指して-

自閉症の方に対して他の人はどんな支援を行っているのかな？など思ったことはありませんか？今回なないろでは、現場で行っている取り組みをいくつか実践報告という形でご紹介させていただきます。明日からの支援に少しでもお役に立てる研修を目指し準備を進めております。是非ご参加ください。

【日時】 2025年1月1日～1月31日23時59分

【視聴方法】 オンデマンド配信（全編録画配信）
※お申込みいただいた方にリンクを配布致します。

【受講料】 1000円
※申込者に限り、配信期間中何度でも視聴可能。

【内容】 別紙プログラムをご参照ください。

【お申込み】 下記リンク、QRコードよりお申込みください。

URL:

なないろって？

札幌市東区にある、自閉症者地域生活支援センターなないろは、利用者さまお一人お一人の「暮らし」「しごと」「よか」を支える総合支援センターとして、相互に連携しながら自閉症支援を行なっています。

お問い合わせ
TEL 011-477-731(平日:10:00～17:00)

※通話料はお客様負担となります。予めご了承ください。

事務局

プログラム

- 「ひとりの人を支えるためにまとまる ～なないろのスタンス～」
所長 加藤 潔
- 「相談支援を切り口に ～『連携』をキーワードにして～」
業務課長 平松 浩樹
- 「ニーズを捉えた地域生活 ～憧れた自立生活への道のり～」
GHステラ 能登谷 凱
- 「15年ぶりの野球観戦に行こう」
Aina 村瀬 敬軌
- 「生活介護の紹介 個別特化型事業所 only oneを目指して」
主任 吉井 宏孝
- 「見えなかったものを探しにいこう
～アセスメントを通してNさんを見つめ直す～」
生活介護 成田 江里
- 「選択の幅を広げ、生活の充実を目指す
～1種類から2種類へ～」
生活介護 小玉 裕果

配信期間

2025年1月1日～
1月31日



最近のTOPIC

ぼけっと (東) がヘルパーステーションAina (あいな) になりました

この度、10月1日より、「パーソナルサポートセンターぼけっと」の一部(なないろ内に事務所を置いているチーム)が分離独立して、単独の事業所として稼働することとなりました。社会福祉法人はるにれの里として初の札幌市内の居宅介護事業所が立ち上がりました！

ちなみに、Ainaはフィンランド語で「いつも」という意味です。「いつも一緒」「いつも楽しく」「いつも一生懸命」と「いつも〇〇であっいいな」と思われる事業所になれるように頑張っていきます。

外出場面は環境の変化が大きく、時に予測できないことが起こることもありますが、安全に継続的に外出を行っていくために、僕たちは外出先の社会資源を事前に見学したり、チームで計画を立てたり、組として事業所を超えて想いや課題を共有します。

みなさんの一生懸命運動する姿。美味しそうに食事している姿。楽しそうに何かに取り組んだり、好きなものを見ている姿。そんなステキな姿をいつも僕たちに見せてくれて本当に感謝しております。

今後も変わらず、Ainaをよろしく願いいたします。

(記 Aina管理者 中幡)

他にもこんなことやってます

「さっぽろ行動援護ネットワーク」

事務局として、札幌市内または近郊のヘルパー事業所との交流や支援技術の向上のための勉強会などを行っております。ヘルパー事業所同士のつながりを深め、行動援護事業の支援体制基盤の一助となれたらと思っております。



▲ さっぽろ行動援護ネットワークの職場交換研修の様子

令和6年度 強度行動障がい 支援者育成モデル研修 受講料無料

本研修も2シーズン目に入ります！途中からの参加も大歓迎です。各回必ず、基本的なポイントを再確認しながら行なっていきます！

6/14 (金) 8/23 (金)	10/25 (金)
アセスメントから支援グッズを作ろう	氷山モデルで支援を整理しよう
12/13 (金)	2/7 (金)
コミュニケーション支援の方法を考える	事例検討会

「札幌市自立支援協議会東区地域部会」

東区の地域部会の中で「強度行動障がい支援者育成モデル研修」を行っております。昨年度より担当させていただき、年間5回実施しています。演習を中心とした研修で、福祉職だけではなく学校の先生や障がい当事者の方など毎回30名前後の方が参加をしてくれています。

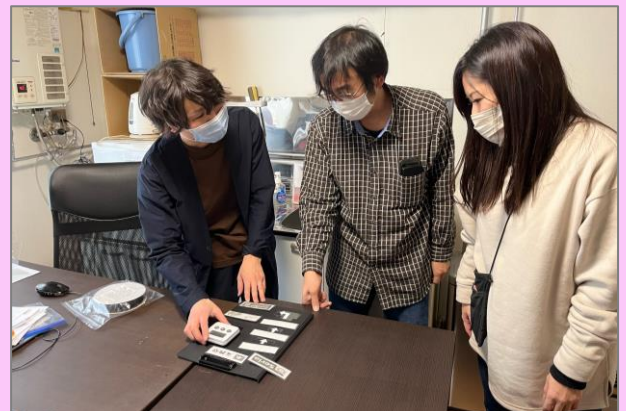
◀ 自立支援協議会の研修案内

「札幌市行動援護人材育成モデル事業」

札幌市から委託を受けて、行動援護事業に特化した人材育成を目的とした事業を行っています。研修を行ったり、事業所に出向きコンサルテーションを行ったりすることで、行動援護事業の支援体制作りを行っています。

「行動援護従業者養成研修」

北海道から委託を受けて、事務局を担当しています。さっぽろ行動援護ネットワークのみなさんにも協力してもらい、講師・インストラクターの養成も行っています。



▲ 札幌市行動援護人材育成モデル事業のコンサルテーションの様子